資料６

**校舎等の消毒について**

**◆ 消毒する箇所**

教室・トイレなど児童生徒等が利用する場所うち、特に多くの児童生徒等が手を触れる箇所（ドアの取手、手すり、スイッチなど）。

**◆ 薬品の種類**

　□ 次亜塩素酸ナトリウム（塩素系消毒薬 例：ハイターやブリーチ等）

　□ アルコール消毒液

**次亜塩素酸ナトリウムを使用する際の注意点**

≪作り方≫ 　塩素濃度0.05～0.5％の希釈液を作成する。（目安となる濃度は0.05%です）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 製品濃度 | 原液の量 | 水量 | 希釈液の塩素濃度 |
| ５％ | ２５ｍL（漂白剤のキャップ約1杯） | ２L | 約0.06％ |
| ６％ | ２５ｍL（漂白剤のキャップ約1杯） | ３L | 約0.05％ |
| ６％ | １２～１３ｍL（漂白剤のキャップ約1/２杯） | １L | 約0.08％ |

［計算式］製品濃度％×原液の量÷水量＝塩素濃度

≪使用時の注意≫

・製品の取扱いの注意を必ず確認してから使用する。

・十分に換気をおこない、家庭用ゴム手袋（手指を保護するもの）やマスク（呼吸器を覆うもの）等を着用のうえ使用する。

・ペーパータオル等に十分に消毒液を含ませ清掃を行った後、水拭きを行う。金属腐食性があるため、金属部分を消毒する際は特に注意してふき取る。

・作り置きは効果が低下します。なるべく使用直前に作ったものを使用する。

　※ 作った消毒液を一時的に保管する場合は、誤って飲むことがないように、消毒液であることを、はっきり明記して、児童生徒等が触れない場所かつ、日光の当たらない場所で保管しましょう。

・他の薬品と絶対に混ぜない。混ぜたものによっては有毒ガスが発生します。

・手指消毒としては絶対に使用しない。ものに付着したウイルスの消毒用として使用する。

**アルコール消毒液を使用する際の注意点**

ペーパータオルやティッシュ等に十分に消毒液を含ませ清掃を行う。